

令和4年10月29日

芥川ウォーキングツアー を実施しました!!

10月29日（土）、秋晴れの気持ちのいい青空の下、「魅力発見！芥川ウォーキングツアー」を開催しました。コロナ感染の関係で久しぶりの開催となりましたが、参加者約30名が4班に分かれて、上の口から摂津峡を通り、芥川沿いの遊歩道を桜堤公園まで歩きました。

イベントには一般参加者29人、芥川俱楽部スタッフ10人の39人が参加しました。暖かい日で半日楽しくいい汗をかきました。

ウォーキングの途中では、芥川俱楽部スタッフが芥川に関する魅力を解説しました。摂津峡の成り立ちや河岸段丘などの地形、落差工や堰に設けられた魚みち、その昔に原や服部で営まれていた寒天づくりなどについて、それぞれのポイントで解説すると参加者のみなさんは興味深く聞いていました。

途中、摂津峡桜広場やあくあびあ芥川での休憩もはさみ、お昼過ぎには桜堤公園に到着しました。ゴール地点ではみんなで記念撮影を行い、解散となりました。

これからも芥川の魅力を発見できるようなイベントを実施していきますので、ぜひ参加してくださいね。



芥川俱楽部では、川づくりや各種イベントに参加してくれる方を募集しています。

イベント等の情報は下記の芥川俱楽部ブログにて、紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページ：<http://akutagawaclub.web.fc2.com/> ブログ：<https://akutagawaclub.exblog.jp/>
E-mail:akutagawa0726@yahoo.co.jp

～第18回 淀川・芥川刈-ンアツ 大作戦～

天然のアユが遡上する前に“淀川（高槻市域）と芥川の大掃除”を実施します！一斉清掃は水辺環境の保全とマナーの向上に繋がります。みなさんの参加をお待ちしています。

令和5年3月11日（土）午前10時～正午

集合場所

右の地図の①～⑥の各地点
6か所のうち
ご都合のいい
所へお越しください。



雨天中止の判断は、前日午後5時に行います。

情報は『芥川
俱楽部ブログ』
に掲載します。
(下部URL参照)



クリーンアップ(あくあびあ前)



クリーンアップ(城西橋上流)

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより



Vol.42
2023年
春号



石の魚みちの見学

四万十町のみなさんが石の魚みちを視察
いい川WSでの交流から実現

令和4年11月17日

四万十町のみなさん



11月17日（木）午後、いい川・いい川づくりワークショップがご縁で、高知県四万十町役場、四万十川財団および地元の皆さんの6人が芥川の石の魚みちの視察に来られました。視察の目的は、「四万十町四万十川保全活用基本計画」の見直し時期で、地元からの要望で四万十川2次支流の戸川ノ川の堰に魚道を設置する計画があり、石の魚みちを参考にすることです。

地元では戸川ノ川に数か所ある堰に魚道を設置し、アユをより水がキレイな上流へのぼらせ、内臓も食べられるようなアユを育てたいとのことです。

あくあびあ到着後、山本館長から2階にある石の（次ページにつづく）

編集 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川俱楽部～

発行 令和5年（2023年）3月 高槻市都市創造部下水河川企画課 TEL 072(674)7432

●芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワークは河川協力団体（国（近畿地方整備局）第2号）に認定されています●

～～～芥川はみんなの財産です。みんなで守り、育てていきましょう。～～～

(前ページのつづき)

魚みちの模型と説明パネルで概要説明をした後、現場の視察をしました。現場では、石の魚みちについて詳しく説明するとともに四万十町の皆さんからの質問に答えました。

現場視察を終え、あくあびあ館内の見学をした後多目的ホールに移動して懇談会を行いました。四万十町から、石の魚みち設置への法規制や手続き、設置までの経緯、設置後の成果などについての質問があり、茨木土木事務所と芥川俱楽部から回答しました。

また、四万十町での魚道設置について、意見交換しました。戸川ノ川にある堰の高さは3m~5mもあり、魚道に必要な勾配を確保するには、かなり長い魚道が必要となることや、川幅が狭く川が蛇行しているので設置にあたっては色々と工夫が必要となることなどの課題について、話し合いました。

今回の魚道視察やあくあびあ芥川見学の結果を参考に改めて検討することでした。視察の後、清福寺落差工の魚道と芥川大堰の魚道を見学し、午後5時過ぎ帰途につかれました。

～四万十川財団さんのブログにて 芥川見学を紹介～

四万十川財団さんのブログにおいて、今回の芥川見学について紹介されています。

あくあびあ館内や石の魚みちの見学の様子を写真とコメントを交えて詳しく書かれています。

他にも、四万十川財団や現在取り組んでいる事業の紹介、月1で発行されるコラム『清流通信』など、みどころ満載のホームページもぜひ一度ご覧になってはどうでしょうか。

公益財団法人四万十川財団ホームページ：

<https://www.shimanto.or.jp/>



戸川ノ川の付近図

アユの産卵場所と仔魚調査

2022年度

アユ仔魚調査は、毎年摂南大学の石田研究室と共同で実施しており、2022年度は、上流側から順に、①城西橋上流の産卵場整備地点上流側、②産卵場整備地点下流側、③次郎四郎橋下流（これまでの定点）、④芝生大橋下流（昨年の浚渫工事によってできた瀬の下流）、⑤新幹線橋梁直下（芥川最下流）の5か所で流下するアユの仔魚調査を行いました。

調査方法は、プランクトンネットを使い、原則19時から21時まで30分ごとに20分間サンプリングを行いました。（一部長時間調査あり）調査期間は、11月1日～12月17日の火曜日と土曜日です。期間中は雨が多く、11/1、11/29、12/17の3日が欠測となりました。



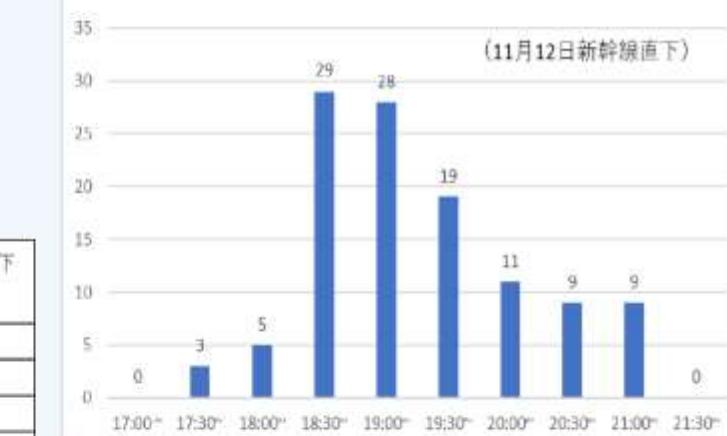
結果は、①、②、③地点では、アユの仔魚は確認されませんでした。捕獲数は、④芝生大橋下流で363匹、⑤新幹線橋梁直下で508匹、合計871匹でした。成魚の目視調査でも下るのが早かったことがわかっており、2022年のアユの産卵は芝生大橋より下流の瀬で行われたものと考えられます。

2022年 アユ仔魚調査結果 (四)

地点	城西橋A ①	城西橋B ②	次郎四郎橋 ③	芝生大橋下流 ④	新幹線直下 ⑤
調査日					
11月5日	0	0	—	—	308
11月8日	0	0	—	—	10
11月12日	0	0	—	—	113
11月15日	0	0	—	—	15
11月19日	—	—	—	288	27
11月22日	—	—	0	37	11
11月26日	—	—	0	22	11
12月3日	—	—	—	0	0
12月6日	—	—	—	15	10
12月10日	—	—	—	1	2
12月13日	—	—	—	0	1
合計	0	0	0	363	508



アユ仔魚数の経時変化



また、11月12日に新幹線橋梁直下で調査時間を日没直後の17時から22時までとして時間経過と流下数の傾向を見てみました。

その結果、18時台の後半から19時台にピークがありました。